

障がい者とともに暮らす社会の実現関連予算【平成27年度新規・拡充事業】



障がい者とともに暮らす社会の実現 ～障がい児・者の地域生活の充実、社会参画が進むための社会環境の充実～

平成27年度
当初予算事業費
約8.1億円

【現状】

- ・前年度に開催された「第14回全国障がい者芸術・文化祭とっとり大会」の成果を未来に引き継ぐ
- ・2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた全国的な障がい者の芸術文化振興を有志の都道府県と連携して推進
- ・平成25年10月「手話言語条例」制定、平成26年11月「全国高校生第1回手話パフォーマンス甲子園」の開催、障がい者の情報アクセス・コミュニケーション全般へ関心の高まり
- ・発達障がいの理解啓発及び発達障がいのある本人・保護者が地域で安心・安全に暮らせる体制を推進

総事業費
(臨時議会+H27当初)
約8.5億円

芸術文化・スポーツの振興

1.9億円



- ・「あいサポート・アートとっとりフェスタ」(第14回全国障がい者芸術・文化祭とっとり大会)の成果を未来に引き継ぐ (110百万円)
- ・(新規)「あいサポート・アートインフォメーションセンター」の設置
- ・(新規)「あいサポート・アートとっとり祭り(鳥取県障がい者舞台芸術祭)」及び「あいサポート・アートとっとり展(鳥取県障がい者芸術・文化作品展)」の開催
- ・(新規)障がい者の芸術文化活動の全国発信 等
- ・あいサポート・特別支援学校合同文化祭の開催 (11百万円)
- ・2020年東京パラリンピック開催に向けた競技力向上 (25百万円)
- ・障がい者スポーツ協会の運営体制の充実 (40百万円)
- ・学校間交流等による障がい者スポーツ振興 (2百万円)

情報アクセス・コミュニケーション支援

1.7億円



手話の普及、環境の整備

(107百万円)

- ・(新規)遠隔手話通訳を活用した電話リレーサービスの実施
- ・(新規)手話啓発イベントへの補助
- ・(新規)手話通訳者指導者の養成
- ・(新規)手話バッジの製作
- ・(拡充)手話通訳者・要約筆記者の派遣 等
- ・(継続)第2回全国高校生手話パフォーマンス甲子園の開催 等

盲ろう者への支援の強化

(14百万円)

- ・(新規)盲ろう者の実態調査及び戸別訪問
- ・(新規)盲ろう者啓発講演会実施事業
- ・(継続)盲ろう者通訳・介助員の派遣 等

視覚障がい者への支援の強化

(44百万円)

- ・(新規)中途視覚障がい者への歩行訓練等を行う指導者の育成
- ・(継続)視覚障がい者向けパソコンリサイクル事業 等

共に生きる環境づくり

4.7億円



- ・あいサポート運動のさらなる推進・強化、全国展開 (17百万円)
- ・障がい者の日中・夜間の受け皿となる施設の整備促進 (246百万円)
- ・グループホームの安全対策(スプリンクラー等設置)【臨時議会】 (35百万円)
- ・バリアフリー設備等整備の支援拡充 (46百万円)
- ・あんしんトリピーメールシステムの改修 (16百万円)
- ・障がい者就業体制の整備 (104百万円)
- ・(県版ジョブコーチセンターの拡充、アセスメント・調整支援員の配置 等)
- ・アルコール健康障がい対策 (9百万円)

発達障がいの理解啓発及び 発達障がい児・者の地域生活支援

0.2億円



- ・発達障がい等の保護者へのサポート研究 (1百万円)
- ・ICTを活用した発達障がい児への支援 (1百万円)
- ・発達障がいの情報発信の強化 (1百万円)
- ・(思春期～青年期編りーフレット作成、講演会、出前説明会の開催)
- ・特別支援教育における発達障がい児童・生徒への支援充実 (20百万円)